



国防担う人材確保を目指し

自衛官募集相談員に辞令交付

自衛官を志望する人たちへの広報活動などを行う「自衛官募集相談員」の委嘱辞令が、11月2日(木)町長室で手渡されました。

今回、田中青森地方協力本部長と町長からの連名で委嘱された人は、成田寛さん(薄市下)、大川幸勝さん(大沢内)、角田廣さん(下前浜)です。辞令を受け取った3人は「国を守るという大事な仕事なので、優秀な人材を確保できるようがんばりたい」と抱負を述べていました。任期は11月2日から2年間で、自衛隊に関する相談業務を行います。

町の水利施設参考に

インドから視察団来町

インドのオディシャ州から日本のかんがい技術などを学ぶために来日した研修員7人が11月8日(水)、濱館町長を訪問し、当町の水利施設を視察して学んだことや感謝の言葉を述べました。町長は「中泊町によろこそ。わが町の水利施設や農業が参考になれば嬉しいかぎり」と話しました。



視察団は十三湖土地改良区の案内のもと、若宮機場などを見学し、農業用水の管理方法の説明を受けた後、水道料金の徴収方法、施設の管理体制など熱心に質問していました。その後、ピュアを訪れた視察団は「インドに必要な施設・技術を学ぶことができた。農産物もおいしそうなものばかりだった」と話していました。

地域に少しでも貢献を

東北電力が富野猿賀神社に台柱寄贈

東北電力企業グループが富野猿賀神社の例大祭で奉納旗を設置するための台柱を、木製からコンクリート製に更新・寄贈しました。10月4日(水)には、赤川五所川原営業所長から富野猿賀神社の佐井川住職に目録が手渡されました。木製の台柱が長年の使用で老朽化していることや、地域の活性化に向けて、少しでも貢献したいという思いから実施されました。佐井川住職は「古くなっていたので嬉しい限り。多くの人に支えられていると実感する」と笑顔で話していました。



米作りの工夫を学ぶ

武田小5年生がふるさと学習

武田小学校5年生が、11月2日(木)に役場農政課職員を招き、町の地域の米づくりなどを学びました。

児童たちは、町で行われている農業の概要や地域の米づくりの発展、野菜の作付状況、特色ある取組している人などの説明を受けました。授業を受けて児童たちは「見たことない機械があっっておどろいた」「トマトだけでなく、他の野菜も作っていると初めて知った。私もいろいろな野菜を育ててみたい」と話していました。





なかどまりの魅力を伝えよう

中里小5年生がCM制作

毎年、青森朝日放送で実施しているふるさと自慢わがまちCM大賞。今年は、中里小学校5年生が挑戦しました。児童らは、中泊町の魅力がある場所を選び、総合的な学習の時間を使って見学・撮影を行いました。11月12日(日)には、

青森市の青森公立保健大学で審査発表会が行われました。他の市町村のCMを見て笑ったり、驚いたりしながら中泊町の番を今か今かと待っていました。自分たちのCMの発表が終わると、児童らは安堵の表情を浮かべていました。審査発表会に参加した児童らは「緊張したけど、大きい画面で見るときは嬉しかった。他のCMを見て勉強になった」と話していました。第17回ふるさと自慢わがまちCM大賞は、平成30年1月3日(水)16時から青森朝日放送で放送されます。子どもたちが作った作品をぜひ、ご覧ください。

全身で収穫を体験

中里小2年生が大豆収穫体験

グリーンツーリズムの会かけはしが、子どもたちに収穫の喜びを体験してもらおうと、10月30日(月)青果連所有の育苗ハウスで大豆収穫体験を行いました。収穫体験に参加したのは、中里小学校2年生で、収穫が始まるのを楽しみにしていました。始めに、児童らは列になり、シートに広げられた豆殻のついた枝を踏み歩き、さやから豆を出しました。児童らは楽しそうに飛んだり跳ねたりと、夢中で豆を取り出していました。その後、一粒一粒を拾い集めていました。児童らは「みんなで大豆を落とすのが楽しかった。でも、拾うのは大変だった。食べるのが楽しみ」と笑顔で話していました。



ボランティアで県民カレッジ認定!

生涯学習フェア2017

毎年恒例の生涯学習フェアが10月1日(日)、青森総合社会教育センターで行われました。当町からは「めんだりカッチャ」(会長・葛西美奈子)の会員34人が教養学習コースで、葛西姫由さん(下豊岡)が子どもカレッジコースで認定され認定証が交付されました。継続している福祉ボランティアが認められた「めんだりカッチャ」

は、学生を代表して挨拶を行いました。葛西さんは「高齢者だって役に立つことができると認められて嬉しい。三村知事にも励ましの言葉をもらい、一層やる気が出る思い」と笑顔で話していました。

ハッピー・ハロウィン!

子ども会育成連合会ハロウィンパーティー

子ども会育成連合会主催のハロウィンパーティーが、11月5日(日)日本海漁火センターで開催され、子ども会に所属する家族ら55人が集まりました。思い思いの仮装に身を包んで参加した子どもたちは、カボチャを使ったお菓子作りや、工作を楽しんでいました。また、トイレットペーパーをどれだけ上手に体に巻けるのかを競うミイラゲームや紙飛行機とばし、仮装コンテストなどで盛り上がりました。たくさん遊んだ後は、カレーライス、フルーツポンチを食べ、満足そうな顔を見せていました。

